

# 2 0 0 6 年 度 事 業 報 告

## 事業概要

地域社会のさまざまな課題を解決する担い手として、多種多様な活動をくり広げる市民活動団体（以下「NPO」という。）に対する社会の期待が高まっている。また、ボランティアや市民活動に携わる人、あるいは関心を示す人は年々増加しており、今後は、いわゆる「団塊の世代」の退職に伴い、こういった分野への市民の参加がさらに増えるものと考えられる。

しかしながら、NPOの現状は、まだ多くの団体で事業の発展的継続のための資金やマネジメント能力の確保、他との効果的な連携などの課題が見受けられる。

このような現状を踏まえ、2006年度は、新たに民間から事務局長を招聘し、業務運営の刷新を図り、NPOへの事業支援とともに組織基盤の強化に向けた支援を行った。

主な事業としては、資金面での基盤強化を図り、経営力が高められるよう「おうみNPO活動基金助成事業」や新しい地域課題に取り組むリーダーを養成する「おうみ未来塾」、広く市民活動やNPO活動を紹介する「おうみ市民活動屋台村」を引き続き実施し、また各種講座などを開催し、NPOへの事業支援、組織基盤の強化を図った。

新たな事業としては、地域の課題を市場経済による事業で解決を図る、いわゆる社会起業を促す講座である「おうみ社会起業塾」を開催した。さらに各種団体とのネットワーキングを促進するための取り組みや企業とNPO連携を促進する取り組みを行った。

あわせて、当財団のホームページをリニューアルし、情報発信、情報提供の充実も行った。

## 事業実績

### 1 情報提供事業

#### (1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、県民の動き、意見・提言、活動団体の活動情報などを掲載する「おうみネット」を発行した。

規 格：A4判 12頁 二色刷

発行部数：10,000部/回

発行回数：6回（NO.53～58・奇数月発行）

配 布 先：市民活動団体、個人、行政（県・市町村）、社協、図書館、公民館、ホール、大学、高校、銀行、郵便局、他府県NPOセンターなど

#### (2) 活動団体データベースの整備

活動団体データベースの整備を行うことにより、センターでの情報提供に活用し、活動団体間の情報交流を図るとともに、データベースの更新を実施した。

#### (3) 淡海NPOデータファイルの発行

活動団体を広く紹介し、ネットワークの形成を促すため「2006年度おうみNPOデータファイル（追補版）」を発行した。

発行部数：390部

掲載団体：208団体

#### (4) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

地域づくり情報、人情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集・提供するとともに、閲覧・貸出の便宜を図った。

#### (5) インターネットの活用

センターのホームページを通じて、センターの事業の活動情報や市民活動団体の情報発信を行った。2006年10月14日付けでアクセシビリティに配慮したホームページのリニューアルを行った。

【リニューアル前】（2006年4月1日～2006年10月13日）

アクセス件数 13,053件（1日平均 66.59件）

【リニューアル後】（2006年10月14日～2007年3月31日）

ホスト数 24,279件（推計）（1日平均 144.52件）

アクセス件数はアクセスの延べ件数。

ホスト数は、パソコン1台あたり1日1カウントを限度としたアクセス件数をいう。

- (6) メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信

無料メーリングリストを利用して、市民活動団体に月4～5回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

配信件数：709件/回

配信回数：58回（第92号～第139号、号外10回）

## 2 交流事業

- (1) おうみ市民活動屋台村2006の開催

県内の市民活動やNPOの情報を広く紹介することにより、市民活動やNPOへの理解を深め、こうした活動への参加の気運を醸成するとともに、市民活動団体の交流を深めるため、実行委員会の企画運営により開催した。

日 時：10月28日(土)～29日(日)

場 所：マキノ高原（高島市マキノ町）

実行委員：35人

出展団体：89団体

参加者：約3,000人（のべ）

- (2) おうみ市民活動フォーラムの開催

本県にて開催された「NPO活動推進自治体フォーラム滋賀大会」の前夜祭としておうみ市民活動フォーラム「新しい公共を考える マルチパートナーシップの時代」を開催した。

日 時：11月7日(火)

場 所：県民交流センター（大津市におの浜）

内 容： 問題提起「滋賀県のまちづくりと市民活動の変遷と今後の課題について」（滋賀大学経済学部教授 北村裕明さん）  
事例発表「大学の地域の協働の取組滋賀県立大学の取り組みから」（滋賀県立大学環境科学部助教授 近藤隆二郎さん、学生2団体「とよさと快蔵プロジェクト」「中山道コンシエルジェ養成プロジェクト」）  
パネルディスカッション「新しい公共を考える マルチパートナーシップの時代」（北村裕明さん、近藤隆二郎さん、サンライズ出版株式会社代表取締役 岩根順子さん、マキノまちづくりネットワークセンター 藤原久代さん）

参加者：約70人

- (3) 活動団体ネットワーク促進事業

団体同士がネットワークを組むことで、より効果的な活動を促進するため、企画を募集し、採択団体には経費負担を行った。

応募件数：4件

採択件数：2件

内 容： 野性獣利活用ネットワーク（NPO法人蒲生野考現倶楽部）  
ふれあい農園ネットワーク（NPO法人ふれあいネット）

負担額：50千円×2団体

- (4) 交流サロンの運営

ピアザ淡海内の交流サロンを運営するとともに、掲示板、情報ラックを活用し、人と情報の交流を図った。

## 3 活動活性化事業

- (1) 相談業務

県民や団体のさまざまな相談に応じる窓口を運営した。

相談実績：来室 147人 電話 68件

- (2) 企業-NPO連携促進事業

企業とNPOが出会い、意見交換する交流会を淡海フィランソロピーネットとの共催により開催した。

日 時：3月15日(木)  
場 所：NEC晴嵐会館(大津市御殿浜)  
内 容：基調講演「なぜ今、企業とNPOの連携・協働なのか」  
講師：岸田真代さん(NPO法人パートナーシップサポートセンター代表)  
参加者意見交換

参加者：39名(企業：18名 NPO：13名 その他：8名)

(3) NPOサポート事業

市民活動団体の運営・事業実施に関してサポートするため、センター職員および事業サポートアドバイザーが訪問面談して、自立のための集中的なサポートを行った。

訪問・面談サポート

・サポート団体数：17団体  
・面談回数：36回(うちアドバイザー1回)

マネジメント講座の開催

・開催日：2007年1月27日(土)14:00~17:00

・会場：県民交流センター(大津市におの浜)

・内容：講義・ワークショップ「プレゼンテーションのツボ、教えます」

・講師：永井美佳さん((福)大阪ボランティア協会)

(4) NPO支援センターとの意見交換会

淡海ネットワークセンターと県内に設立されている地域支援センターのスタッフが相互の機能を高めるため、情報交換を行う意見交換会を開催した。

開催回数：計6回(隔月)

参加者数：平均17人/回

センター職員による研修会

2006年7月7日 木村光一「自分のセンターを知る」

2006年11月16日 浅野令子「NPOの収益構造を考える」

(5) 企業・NPOマッチング事業

企業で使用されなくなった備品等が市民活動で役立てられるよう、企業とNPO間の仲介を行った。

提供者：三菱東京UFJ銀行

提供物品：ディズニーキャラクターグッズ 約2,000個

提供先団体：13団体

提供日：2006年4月23日

(6) 情報ボックスの運営

団体間の情報交換を支援するための情報ボックスの運営を行った。

利用団体：121団体(2007.3.31現在)

(7) ワークコーナーの運営

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えたワーキングコーナーの運営を行った。

利用実績：638件 878人

(8) NPOミニ講座の開催

毎月2回開催 参加者計27名

(9) 会計・税務・労務相談の受付

相談件数 14件

#### 4 人材育成事業

(1) 各種講座の開催

【会計・マネジメント講座】

テーマ：情報科(情報スキル)講座

内 容： 大判パネル印刷入門  
 広報チラシ作成入門  
 講 師： 滋賀会館シネマホールファンクラブ 山田隆さん  
 うーぴ企画 祖父江立美さん  
 日 時： 2006年7月26日(水) 13:30～16:40  
 2006年7月27日(木) 13:30～16:40  
 場 所： 県民交流センター  
 参加者： 7名 13名  
 アンケート： 良く理解できた 2名 / なんとか理解できた 4名 /  
 あまり理解できなかった 0名 / 無回答 1名  
 良く理解できた 2名 / なんとか理解できた 3名 /  
 あまり理解できなかった 0名 / 無回答 8名  
 テーマ： 会計科（会計・税務知識）講座  
 内 容： ボランティアグループ“初めての”会計担当 基礎講座  
 NPO法人・市民活動団体 会計担当 実践講座  
 講 師： 公認会計士 藤崇之さん  
 日 時： 2006年8月5日(土) 13:30～16:30  
 2006年10月14日(土) 13:30～16:30  
 場 所： 県立文化産業交流会館  
 米原公民館  
 参加者： 9名  
 23名  
 アンケート： 良く理解できた 3名 / なんとか理解できた 4名 /  
 あまり理解できなかった 0名 / 無回答 2名  
 アンケート： 良く理解できた 1名 / なんとか理解できた 9名 /  
 あまり理解できなかった 0名 / 無回答 13名  
 テーマ： 企画科（事業化スキル）講座  
 内 容： 事業を企画しよう 助成金を申請しよう(ワークショップ)  
 講 師： 淡海ネットワークセンター  
 (ワークショップ協力) 木考塾代表 岩波正さん  
 日 時： 2006年9月3日(日) 13:30～16:45  
 場 所： 草津市立まちづくりセンター  
 参加者： 15名  
 アンケート： 良く理解できた 5名 / なんとか理解できた 6名 /  
 あまり理解できなかった 0名 / 無回答 4名

#### 【おうみ社会起業塾講座】

テーマ： <総論・講義> 地域の個性から生業をつくる  
 ～いま地域で求められる自分のスタイルを探る～  
 内 容： 社会起業の特徴と可能性に学びながら地域での取り組みを探る。  
 講 師： 京都学園大学教授 大西辰彦さん  
 日 時： 2006年10月26日(木) 19:00～21:00  
 場 所： 草津市立まちづくりセンター  
 参加者： 14名  
 テーマ： <フィールド調査> まちづくり先進地視察  
 内 容： 高知県馬路村と徳島県上勝村の事例から学ぶ  
 日 時： 2006年11月18日(土)～19日(日) 1泊2日  
 場 所： 高知県馬路村、徳島県上勝村  
 参加者： 16名  
 テーマ： <ワークショップ> 社会起業事業のビジネス構造をつくる  
 内 容： ワークショップにより、社会起業事業に何が必要かを学ぶ。  
 講 師： (有)フォレスト・プラクティス代表 田辺大さん

日 時：2006年12月2日(土) 13:00～17:00  
場 所：県民交流センター  
参加者：14名  
アンケート：良く理解できた 5名 / なんとか理解できた 4名 /  
あまり理解できなかった 0名 / 無回答 5名

【公共施設と市民のかかわりを考えるフォーラム】

テーマ：「市民のチカラでもっと活かせる公共施設」  
～指定管理の事例を通して考える～

内 容： 基調講演「私のだいじな場所～公共施設の市民運営を考  
える」NPO法人市民活動情報センター・ハンズオン埼玉副代表  
理事 西川正さん

パネルディスカッション「指定管理の事例を通して」

コーディネーター：浅野令子

阿部圭宏さん（NPO法人市民がささえる  
市民活動ネットワーク滋賀代表）

藤田知丈さん（近江八幡市立マルチメ  
ディアセンター所長）

高見啓一さん（NPO法人FIELD専務理  
事）

日 時：2007年1月24日(水) 13:00～16:45  
場 所：滋賀県立男女共同参画センター 大ホール  
参加者：73名

アンケート： 内容について  
たいへんよかった 15 / まあよかった 12  
どちらでもない 0 / あまりよくなかった 0  
よくなかった 0  
時間について  
長い 2 / やや長い 4 / ちょうどよい 15  
やや短い 6 / 短い 1

(2) おうみ未来塾の開催運営

地域プロデューサー育成のための「おうみ未来塾」を開講した。新たに第8期生を受け入れ、第7期生のグループ研究とあわせた一体的な塾の運営を行った。2007年度に向けて9期生を募集した。

受講期間：2年間

塾生人数：第7期生 26人 ・ 第8期生 29人

主な日程：第8期生入塾式 6月11日(日)

中間報告会 9月30日(土)

成果発表会・第7期生卒塾式 3月11日(土)

第9期生募集説明会（北大津会場）3月3日(土) 10:00～

（大津会場）3月4日(日) 10:00～

（草津会場）3月17日(土) 10:00～

（彦根会場）3月18日(日) 10:00～

（八幡会場）3月25日(日) 10:00～

(3) 研修等の受け入れ

NPOについてより理解を深めてもらうため、NPOに関心を持つ人材を研修生として受け入れた。

インターンシップ実習生（大学生）の受け入れ

受入期間：8月1日～9月15日のうち11日間

受入人数：2名（財団法人大学コンソーシアム京都より）

## 5 おうみNPO活動基金の運営

### (1) おうみNPO活動基金助成事業の実施

NPOに対して一定期間の資金助成を通じた自立支援を行うため、「おうみNPO活動基金」により、NPOの基盤整備に向けた助成を行った。

なお、企業寄付（しがぎんリースキャピタル・（株）びわこ銀行）、個人寄付を含め、総額約1,692千円の寄付を受けた。

#### 2006年分助成

助成申請団体数：40団体

助成決定団体：14団体

自主事業助成 8団体

- ・NPO法人琵琶湖ネット草津
- ・NPO法人あさがお
- ・NPO法人西大津駅周辺防犯推進協議会 継続2年目
- ・子どもの美術教育をサポートする会 継続2年目
- ・NPO法人環境工房ころころ
- ・滋賀会館シネマホールファンクラブ 継続3年目
- ・山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 継続2年目
- ・NPO法人NPO子どもネットワークセンター天気村 継続2年目

協働事業助成 4団体

- ・草津塾
- ・NPO法人NPOぼぼハウス
- ・NPO法人HCCグループ
- ・NPO法人湖西生涯学習まちづくり研究会どろんこ

NPO活動支援事業助成 2団体

- ・マキノまちづくりネットワークセンター
- ・NPO法人FIELD

助成確定総額：12,187千円

#### 2007年分助成

助成申請団体数：53団体

助成決定団体：14団体

自主事業助成 10団体

- ・NPO法人絵本によるまちづくりの会
- ・NPO法人鳩の街
- ・NPO法人五環生活
- ・NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク
- ・NPO法人あさがお 継続2年目
- ・NPO法人環境工房ころころ 継続2年目
- ・NPO法人琵琶湖ネット草津 継続2年目
- ・山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 継続3年目
- ・子どもの美術教育をサポートする会 継続3年目
- ・NPO法人NPO子どもネットワークセンター天気村 継続3年目

協働事業助成 1団体

- ・おうみX-SPORTSプロジェクト

NPO活動支援事業助成 3団体

- ・NPO法人おおつ市民協働ネット
- ・NPO法人FIELD 継続2年目
- ・マキノまちづくりネットワークセンター 継続2年目

助成決定総額：13,090千円